

法人だより

# おおさか

No. 329

6月号

2022年(令和4年)  
6月1日発行

毎月1日発行 平成3年1月25日第3種郵便物認可

発行人 里井 武

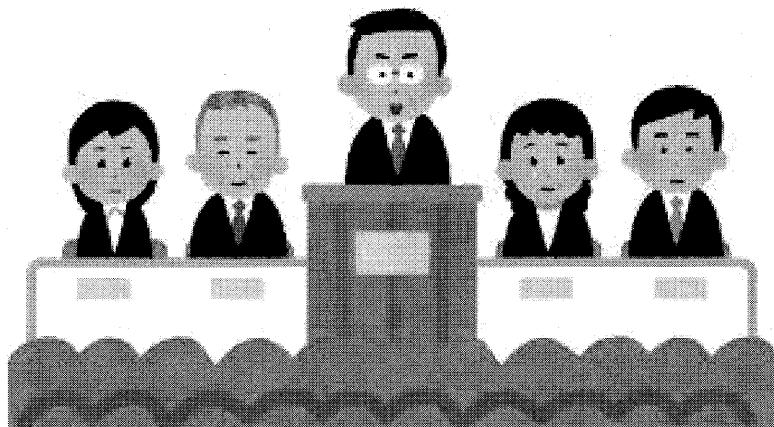
編集人 菅田伊津美

購読料(送料込)年間3,000円 1部50円

(会員の購読料は会費に含む)

社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉社会・後援会  
〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番  
TEL 072-959-2324 FAX 072-959-2632

後援会を  
あなたの手で  
支えます



## 「今日は対面で！」総会に向け準備中です！

(短時間開催につとめます)

後援会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？法人が定期総会に向けて準備中です。会場は大阪市の備中です。会場は大阪市の大淀コミュニティーセンター。ぜつたい密にならないうように、定員600名の部屋を借りました。アルコール消毒剤もたくさん用意しています。

いろいろあつた2021年度総括、決算、そして来るべき2022年度活動方針、予算、スローガンなどを事務局会議、幹事会、運営委員会で討議中です。総務部では個人幹事選挙も行います。本来は昨年が選挙の度でしたが、定期総会が行い1年え開年ま会延長して参りました。

総会に向けて話し合う中、「ウイズコロナ」、「アブターコロナ」についても考えていきます。その中で、団体訪問、学習会、来チャリティ公演、街頭募金、サマー・スクールなどなどどのように考えていくか？大切な会員

の輪を広げること、法人の活動への理解、いまとある施設の支援、これから聴覚障害者センター開所などを行います。法人のアクションプラン(3年ごと作成)は2023年を作成中です。前回アクションプランによび備品の老朽化対策、特にお2019年では○施設建物は2025年になかまの里は2045年までには大規模修繕。○あそ年お2020年にム(へシヨートを含む)、市内に建て貸し方式では家賃負担が大きすぎる。○京阪聴覚障害者センターは、市内等実施調査に向けた建設中、実験的でした。

（後援会事務局）

**告示：**6月19日(日)定期総会で規約により個人幹事選挙を行います。後援会では個人幹事を広く募集します！一緒に社会福祉法人、法人の運営する施設、なかなか話を広げることができます。ぜひ6月1日(火)定期総会にお越しください。

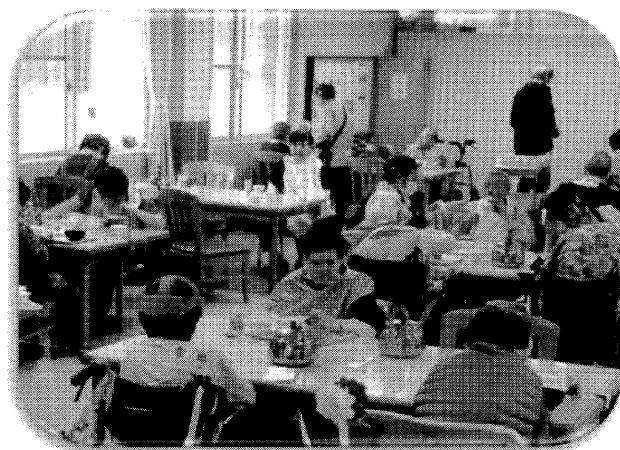
# 障害者支援施設 なかまの里

〒590-0441 大阪府泉南郡熊取町大字久保 2329

TEL 072-453-7545 FAX 072-453-7532

## グループホーム「やすらぎ」

9年に及ぶ施設建設運動の結果、1994年4月1日に開所。「施設の主人公はなかま（利用者）」を合言葉に「いきいきとした豊かな暮らしと社会参加」を目指しています。



### 法人だより 6月号 餐食会

4月24日日曜日になかまの里で春を感じる昼食会が開催されました。普段は、夜に夕食会として夜に行うのですが、今回は「桜などを見て春を感じていただこう！」と企画しました。メニューは、なかまの里の給食部と給食委員会のメンバーが相談し決めています。決定したメニューが掲示されると「楽しみ」「これは美味しい」「もうこんな季節なのか」などと、なかまや支援員が話し合い生活する中での楽しみの一つとなっています。私自身もなかまの里での食事をいただいており、この行事はなかまの里で働くうえでの楽しみの一つになっていました。

本日のメニューは、ちらし寿司・貝のお吸い物・桜もち・かき揚げとジュースでした。なかまに「おいしいですか？」と聞くと「OK」や「グッジョブ」などと感想を満面の笑みと仕草で表してくれました。中にはおかわりするなかまもいました。

なかまの里の玄関前の桜は遅咲きの八重桜で満開であり桜の甘い匂いと綺麗な花びらがなかまの里に春の訪れを感じさせてくれていました。去年は外に出て桜を鑑賞しながらの昼食会でしたが、残念ながら今年はコロナウイルスの関係があり食堂で行いました。食堂にあるスクリーンで前年度開催した春の昼食会で写した風景や様子の写真を映し出し鑑賞しながらの食事となりました。なかまは写真を指差し「桜」「花」「きれい」と表現され、昼食会を楽しんでおりました。



なかまの里 援助部 田中 恵

# = あすくの里 特別養護老人ホーム／ショートステイ／デイサービス／ケアプランセンター =

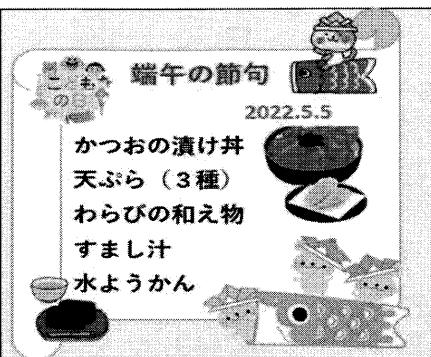
〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番  
TEL 072-957-1764 FAX 072-957-1875

「あ：安心して す：健やかに く：暮らす」の願いを込め  
て2005年4月1日開所。入居者一人一人の願いや思いに寄  
り添った生活支援と介護を行っています。

## 行事食「端午の節句」

口口ナ禍でいろいろと制限が続く中、入居者・利用者の皆さまに季節を感じていただけるよう、そして楽しくおいしくたくさん食べていただけるように、栄養部では年間の季節行事食や各地の郷土料理などを企画しています。

5月5日は端午の節句、2ヶ月程前からメニューを考えました。メインは「カツオの漬け丼」、他には旬の食材を使って「たけのこの天ぷら」「フワビの和え物」、デザートには手作りの「水ようかん」を栄養部職員全員で協力



当日の御品書き



し、提供しました。

入居者・利用者の皆さまは「わっ！御馳走や」、「今日はメニューを見た時から楽しみでおなかペコペコだつた」、「カツオがおいしい～久しぶりに食べられた」、「今日の」

飯もおいしいけど、今度は〇〇も作ってほしい！」等々、

皆さん笑顔でたくさん食べてくださいました。生のカツオ

使える季節は限られますので、特に喜んでいただけたよ

うです。皆さんのお反応を見る

ことができ、こちらも疲れが吹き飛びました。

口口ナはまだまだ気を抜け

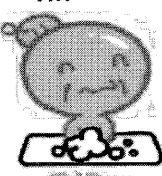
ない状況で、職員は毎日気を

引き締めています。早く終息して、また夏祭りやおもむつきが盛大にできる」と心待ちにしています。

(栄養部 岡田 真一)

## 口口ナ禍の現状

2022年  
5月上旬時点



3月号で初めて職員に感染者が出たときの状況を報告させていただきました。その後も職員の外部感染は続き、1

月から3月の間に計5名の職員が陽性となりました。

4月に入り、施設で暮らす利用者さん1名に感染がありました。すぐに他の利用者さんや職員を検査すると、2名の職員が陽性でした。毎日隣の席で食事を摂っていた利用者さん1名が濃厚接触者となりましたが、感染はなく済

みました。

陽性となつた利用者さんは軽症であり、施設内療養することになりました。療養中の利用者さんへ介護を行う職員

が感染しないように、また他の利用者さんや職員に感染拡大させないため「レッズゾーン対応」を行いました。レッズゾーンに入る時は防護服等をフル装備し、終わったら口口ナ禍専用「み箱」に確実に廃棄します。これを1日に何度も繰り返し、職員は体力も神経も本当に消耗していました。

幸いにも利用者さんは軽症のまま回復し療養期間を終了、感染拡大する」となく最短期間で収束することができます。療養期間中お部屋で我慢された利用者さん、そして体制不足の中対応にあつた職員へ、労いと感謝の言葉が尽きません。

(施設長 平田 幸也)

# — あいらぶ工房 ろう重複障害者通所施設 —

〒552-0023 大阪府大阪市港区港晴1-7-4  
TEL 06-4395-7588 FAX 06-4395-7589

2007年4月1日、大阪市港区に開所。「ろう者のオアシスになってほしい！」という家族の言葉どおり、多くの人たちが集う場を目指しています。

**就労支援。こんな失敗談ありますよ。**



**【ピンクのフラフープ】**

昨年度より「就労を目指すなかまが学び気付ける機会をたくさん作ろう」という意図の下、隔月に一度就労学習会を開いています。

その学習会のことでした。

この回のテーマは「協力する事を学ぶ」。むずかしいテーマです。普段の支援の中でもどのように伝えれば伝わるのかいつも悩むところです。

この難しいテーマを、  
・フラフープを使ったゲーム  
・なかまが社員となり、架空の企画会議を行うロールプレイング

この2つの取り組みを通して「協力すること」を学んでもらおうと企画しました。

1つ目のフラフープ。

全員で協力して、フラフープが途中で落ちないようにバランスよく地面まで降ろすというゲー

ム。お互いの様子を観察して伝え合う力が育まれること。みな真剣に取り組んでコミュニケーションも取っている。（うんうん。まあまあ盛り上がり書いてよさそう。）

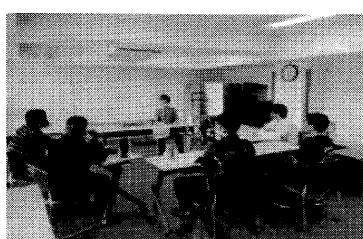


パンッ！机を叩く音。  
叩いたのは参加者の中では年齢も上であるいらぶ工房でのキャリアも長いBさんでした。

BさんはAさんに対して「まじめに！あそばない！」（その通りだけど、言いかたくす……）と怒りAさんに詰め寄る。しかし「？」といった様子のAさん

（響いてない……）。なんとか職員と他の参加者で間に入ってその場は落ち着きました。

ちなみにAさんとBさんの間にはまだ気まずい雰囲気が微妙に流れています。早くお互いに認め合える日がくればいいな。



談にも入れていない。しかしそのままの様子で数分経過……まだ集中していない。（おや？近くにあつたフラフープを手に取

った・・どうするんだ？・・遊びだしてしまった・・！？やめておくんだAさん！）現場に一瞬不穏な空気が流れる。次の瞬間。

バンッ！机を叩く音。これ以降、キャリアやスキルに合わせて参加者のグループ分けを行い、それぞれに合った学びの時間になるような工夫を行いました。就労に対するモチベーションは個々で違うので、それも理解した上で企画が必要だったなど感じるよい経験になりました。

ちなみにAさんとBさんの間にはまだ気まずい雰囲気が微妙に流れています。早くお互いに認め合える日がくればいいな。

この学習会には就労経験もあってキャリアの長いなかまもないなかまもいたり。スキルやキャリアの年数も様々なかなか件はそんななか同士で起こったトラブルでした。

# ほくほく

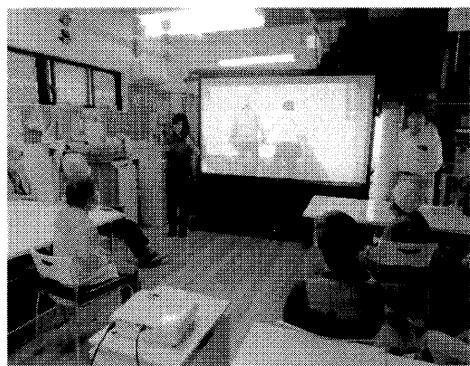
北摂聴覚障害者センター

〒564-0002 大阪府吹田市岸部中3-13-4  
TEL: 06-6387-2015 FAX: 06-6387-2100

2015年4月に吹田市に開所。北摂の聴覚障害者の願いで実現した聴覚障害者専門の通所施設です。  
愛称の「ほくほく」の通り暖かくて優しい気持ちになれる地域に開かれた施設を目指しています。

## YouTubeで社会見学

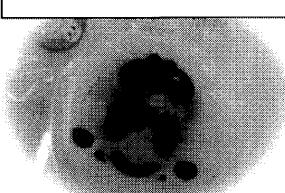
他の作業所などへの見学は「口ナ禍」でまだ可行ないでの、その代わりにユーチューブを利用した社会



見学を5月17日に実施。コロナ禍でも、ほくほくと同じように頑張っている別のB型作業所の様子を動画で見ました。

最初に、A型、B型作業所の違いなど小西職員が解説。その後、2本の動画を見ました。工賃を維持するため、作業確保の苦労話など、普段、仲間が知ることのない内容もあり、みんな興

### 大人気のすいぱん



など好評でした。今回大きなクリーンに映像を映しました。とても見やすいとみんなうれしそう。そのスクリーンはなんと仲間が寄贈してくれたもので、今後はさまざま

味深く見ていました。また吹田のキャラクター「すいたん」のパン、すいぱんを販売する作業所の映像を見た後、そのパンをみんなで食べました。吹田市と大学、作業所が共同で企画、開発したもので、すいたんのかわいい顔の形についています。味の種類が多くあり、事前に好きな味を選びました。「かわいい」「思つたより、ずつしりしていて、もちもちおいしい」「好きなんを選んだけどおいしくてよかつた」など好評でした。

### 地震が起きたらどうする？

最近、地震が頻発しているので、5月7日、地震が起きた時の対応をみんなで勉強、確認しました。

買い物中、電車を待つている時など、いつ地震が起ころかは、予測ができません。そこで、それぞれの場所でどのように身を守るかを考え、ユーチューブを見たり地域の防災資料などで対応を確認しました。

では、ほくほくで起こった時はどうするのか。ほくほくは狭いため、棚の上に置いている色々な物が落ちてきたり、電灯が壊れる恐れもあります。そこで、頭

まな行事等でも大いに使えるので、仲間はもちろん職員も本当に感謝しています。

コロナ禍で、ほくほくだけなく、いろいろな作業所ががんばっている様子を見る事ができ、今後の励みにもなったと思います。

を守るために、机の下に隠れたり、座布団を被るなど、実際にやってみました。

机の下のすばやく潜り込むのに、悪戦苦闘している様子もありましたが、座つたままさっと敷いていた座布団を頭に被るなど、それぞれ身を守る方法を体験。



### 机の下に避難！

仲間の避難訓練のつもりで、仲間の避難の様子を見たり、座布団を頭に被るなど、実際にやってみました。

難の様子など見ることができ、またどのように声かけすればいいのかなど勉強になりました。その後、意見や感想を出し合い、北部地震の体験や阪神淡路大震災時にボランティアに行つた話しをしてくれる仲間もいて、地震の怖さ、備えの大切さを改めて実感しました。

(支援員 西山 恵美子)

# なんなん

## 泉州聴覚障害者センター

〒597-0033 大阪府貝塚市半田1-20-9  
TEL:072-428-6800 FAX:072-428-6801

重複聴覚障害者や地域の作業所でコミュニケーションが取れず寂しい思いをしてきた方、自宅に閉じこもりがちな高齢聴覚障害者が「集い」「語り」「一緒に」作業や活動を通して豊かな暮らしを築いていくための場所です。



### 『はじめごめん』

新年度が始まり気持ちも新しく4月1日から、なかもの里のなかもの通所が再開されました。皆元気よく通所され、「おはよう」「久しぶり」と笑顔でいさつをされました。久しぶりに会つなかも、職員に嬉しそうな姿が見られました。施設内がとても賑やかになりました。はじまりの会では、三田センター長の挨拶から始まり

長岡総括主任

の話や、吉見常務理事が挨拶されなかもは

真剣に聞いて

いました。新し

く通所が決ま

ったなかもや、

採用が決まっ

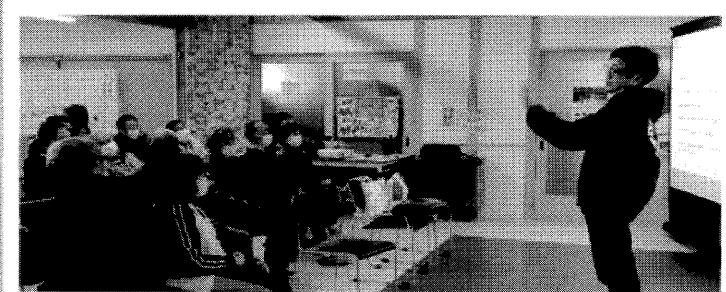
た三人の職員

紹介がありま

した。その後、

各作業班の担

当者の発表がありました。



での集合写真を撮りました。皆元気よく、笑顔で「ピース！」されるなかも、後ろが気になるなかも、「ゴー！」しているなかもと様々な表情がみられました。これからまだまだ「ローナで制限もされる」ともあると思いますが、なんなんのなかもや支援員共に乗り越えていきたいと思います。（援助部 平沼 恵太）



はい！チーズ！



なかもは「わくわく」「ドキドキ」して

いる様子で、担当の班が変わった

支援員もいて、同じ班となつた支援員となかもが話して

いる様子も見られました。休憩時

間には、撮影して

いるカメラに笑顔

でポーズを撮つたり、久しぶりの

なかも同士、楽しそうに話されてい

る姿も見られま

した。最後に全員

# ほうじん

## 社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会

『願い・創造・権利・共に』を理念に聴覚障がい者の豊かに暮らしと権利を守ります  
～手話で築く豊かな暮らし～

しかし、その一方で、16年7月26日に起つた神奈川県「津久井やまゆり園」障害者殺人事件以後を考えても『優生思想の広がり』を彷彿させる事が、國家の施策が実施されており、家族のなかでは「障害者差別の拡大につながる」との懸念が広まり、全国の家族連絡会やあいらぶ工房の家族共有の会総会等で学習や情報機会が設けられていくのです。今後、3回にわたってます。『優生思想の広まりと実態』を報告・共有したいと思います。

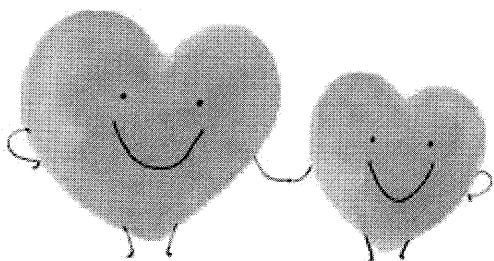
(2)『強制不妊手術』をめぐる裁判の経過  
大阪では2018年7月11日に第1回大阪旧優生保護法対策チーム会議が開催され、実態調査や学習会当事者への訴訟支援や署名活動等が継続的に実施され現在に至っています。2020年5月28日の仙台地裁の判決では一障害のあるひどい子供を産み育てるかの意志決定をする権利を一方的に奪い、個人の尊厳を厳しく踏みにじるものとして、憲法13条の『幸福追求権』など憲法違反である

その後、関係者の更なる行動により、昨年12月の大阪高裁に続き、今年3月の東京高裁で、国の責任を認め、「賠償を命ずる」という逆転勝訴を勝ち取りました。焦点になつたのは20年という除斥期間。國の不法行為として、  
①生殖機能を回復不可能な状態にした  
②國の施策で偏見・差別を社会に浸透したのに、1996年の法改正以降も救済措置を取らなかつた  
③被害者が被害の情報を入手できる制度の整備を怠つた等の理由で、「請求権が消滅する」は極めて酷だ」として、国に『賠償金』

(1) 旧優生保護法  
「優生思想とは」  
第1条には法律の目的として「優生の見地から不良な子孫の出生を防止する」と明記。  
障害のある人、つまり知的・精神そして聴覚障害者等を不良と決めつけ、一定の条件下に該当すれば本人の同意なしに不妊手術を行わされました。この法律をもとに手術を受けた人は各5000人に上りました。

ことを認めつつも、優生手術から20年間という『除斥期間』が過ぎているとのことで、「損害賠償請求権」が消滅しているとした結果は原告の敗訴であり、国は『一時金の支給等に關する法律（救濟法）』を制定し、「認定を受けければ一律320万円の一時金を支給する」としました。

原告や弁護士、関係団体等から「被害者は高齢化のため早期の解決が必要。国は最高裁に上告しない」というに署名等で訴えましたが國は即刻上告しました。この戦いはまだまだ続きます。次号、「優生思想」の広がりを感じさせる事件や国の方策を紹介します。



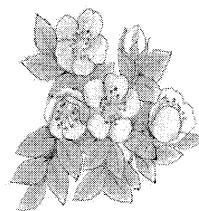
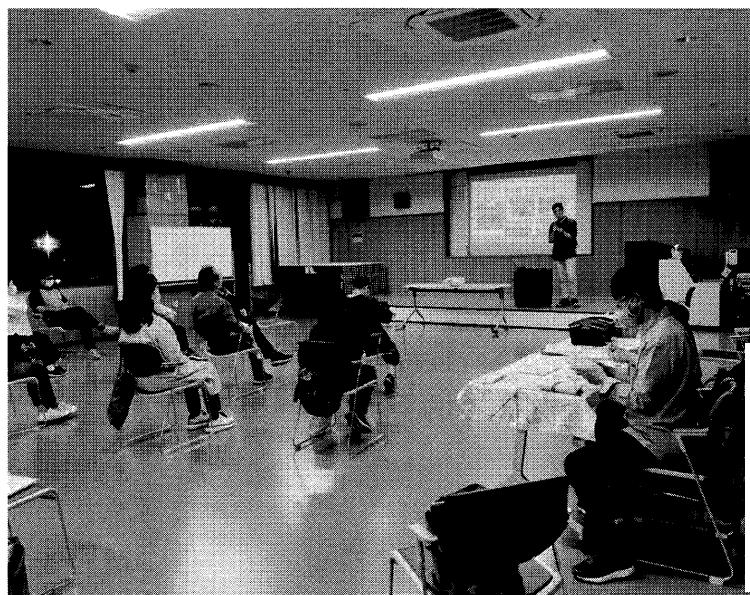
後援会が支援する社会福祉法人（ほうじん）はどんな法人？どんな理念？少しでも身近に感じて頂けるよう法人発信を隨時お届けします。

## 「私たちの活動でできた施設だ」 (寄稿) 手話サークルのばら

2年ぶりの団体訪問講演、なんなんの緯や、施設の活動内容、また施設を利用してない仲間の様子などお話を聞かせて頂きました。休憩時間を利用してなんなんのクッキーやバウンドケーキの販売もあり、サークル会員もたくさん購入してました。また法人後援会の会員登録の申し込み受付もあり、8口の入会がありました。

新しくサークルに入った方々にも法人後援会の活動を知つてもらう機会になりました。これからも法人会の活動を応援していきたいと思ひます。コロナ禍での団体訪問にご協力頂きました。ありがとうございます。また、仲間や職員の方々が楽しく有意義に施設を使っておられる様子が見れています。また、私たちサークルとしてもしっかりとコロナ対策、設で嬉しさを心掛けてお招き出来たことを嬉しく思います。まだまだコロナ終息に至りますが、法人後援会のご活躍を応援しております。茨木市手話サークルのばら

地頭江晶子



### 第33回サマースクールと家族のつどい

3年ぶり7月31日(日)大阪市長居スポーツセンターで開きます。

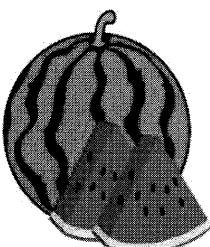
出来ることから始めようと思い、第1回実行委員会でじっくりと話し合って、各施設長達とも話し合って進めました。なかま達は外に出て楽しく過ごして行けたらと思い、コロナ対策をこまめに。午前の班と午後の班を分けて、企画も午前と午後と内容同じ企画を作ると決めました。1日預かる事が出来ます。但し、お弁当を持参してください。

なかま達40人、ボランティア40人、実行委員40人まで越えないように行ないます。このような形で進めて行こうと思います。なかま達のいい笑顔で楽しく過ごせるようにいきます。ボランティアのみなさんへ、なかま達の変化ありますので、7月21日(木)ボランティア説明会に参加してください。よろしくお願ひいたします。是非申し込んでください。

「家族のつどい」家族たちは午前なんなんへ見学会。午後交流会を開くことになっています。

(サマースクールと家族のつどい実行委員会 内野)

頼に施設を始めたことは嬉しいです。ご相談下さい。  
(法人後援会事務局)



この講演の目的は法人後援会の活動を知つて頂くことと、応援していくくだくこと、そして会員拡大です。

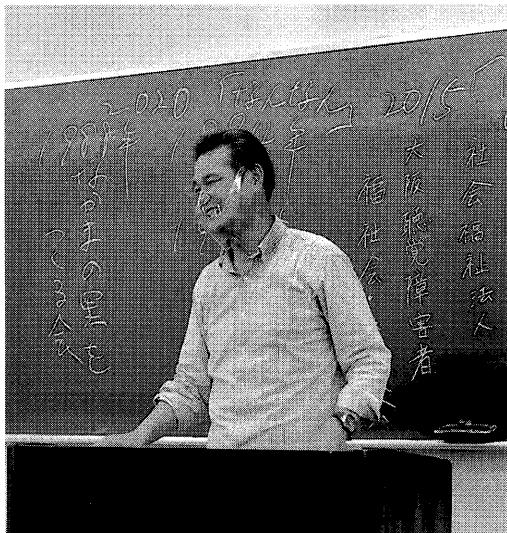
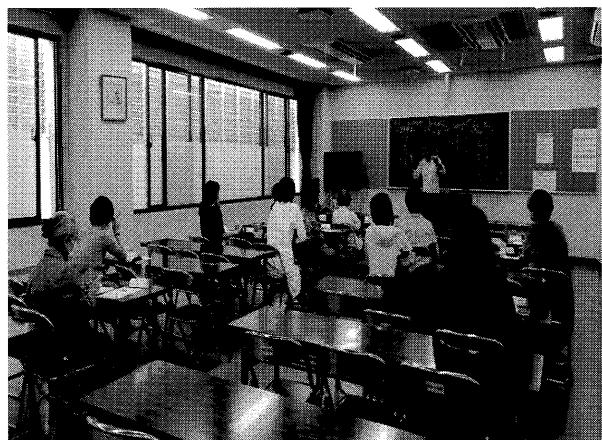
籍ト。今年3月末に手話奉仕員養成講座修了された方。私たちの魂のこもつた正に怒涛の中での施設建設運動のリアルタイムを全く知らない人が半分以上いらっしゃいます。昨年一度法人後援会の流れを勉強しましたが、さて覚えていいのか否か。

令和4年5月14日  
(土)守口市西部コミニ  
ニティセンター2階講義室にて、(社)大阪聴覚障害者福祉会・後援会  
の里井武会長より講演いたしました。

守口市手話サークル  
すなろ法人後援会運営委員  
秋月光子

さて、もうすぐ京阪ブロックに再来する頑張り時を心ひとつ。大阪は一つ。京阪は一つ。そして守口は一つ。団結して参りたいと改めて思いました。団体訪問を受けてから現在新入会員申込書5人続継現をし続けたことを報告いたしま

たちの苦悩。「私が死ぬ時、子供を殺してから死ぬ」の心の叫びに涙し聞き入る方。資金集めのお話では金額に懼く方も。最後には古き会員からも「私たちも歳をとったもんや。」と感慨深い感想をいただきました。



アスナロの葉

旧友再会のよろづや  
気のあすなろの皆さん  
と！ご依頼有難うござ  
いました！

(後援会事務局)

## 法人後援会は会員一人ひとりに支えられています

2022年度会員 2022/5/11現在

ブロック	個人(ろう)	個人(健聴)	団体
大阪市	64	93	27
北摂	27	37	6
京阪	20	23	12
河内	21	29	14
泉州	38	75	20
その他	8	21	0
小計	178	278	79
合計	456		535

暑くなってきました。皆様体調管理に気を付けていきましょう。さて、会員数は500人台を超えました（団体会員含む）。1000人への中間点（折り返し点）です。もっともっとです。  
団体訪問は8件目の依頼がきております（5月24日現在）。優秀な講師陣がいっぱいだよー。ぜひご依頼を！

（組織部長・多田洋）

### ◎2022年度会員手続きをして下さった方・団体◎

#### ○個人会員

赤木正三  
赤木照子  
安達利宏  
足立涼子  
有田克直  
井口軍一郎  
池田智津子  
池田ひとみ  
池田美智子  
池中隆太郎  
井澤初児  
石塚加津子  
石本令子  
泉谷文惠  
伊藤芳子  
伊藤光祐  
伊藤真澄  
井上紀子  
今西智美  
今西伸行  
入木田雅代  
入山 章  
岩野清美  
岩元敬子  
上杉明広  
上田妙子  
上田万吉  
植松清美  
内田正人  
内畠輝子  
内山ひろみ  
内山亮子  
梅本哲哉  
梅本祥子

江浦恵美子  
江川隆幸  
江川眞由美  
江口智香子  
大江さやか  
大江卓司  
太田安造  
大西祥子  
大橋康平  
大山久美  
丘村彰敏  
岡本麻美  
小川寿一  
小椋隆史  
尾崎克子  
越智英生  
柿ヶ原久美  
景山 恵  
梶田顕佑  
加島義代  
金田榮国  
加根田勝  
鎌田久美子  
川越恵津子  
川崎美代子  
河原丈志  
河原理恵子  
川元義次  
神崎真理子  
岸田楠二  
北脇亜弓  
木原由紀子  
葛迫直人  
久保聰之  
久保富子

熊野 勉  
倉内勝則  
栗栖美登里  
栗田淳子  
好田佳保里  
香村篤子  
小島八重子  
古瀬常實  
古瀬百合子  
小滝包子  
小林由佳  
小松亮介  
米野規子  
小山高宏  
坂本久美  
佐々木初枝  
笛本好子  
佐藤由起子  
佐藤友一  
鮫島武文  
島添卓己  
島田邦彦  
志水一美  
清水邦恵  
清水千代  
清水宏晃  
清水ヒロ子  
下山久子  
新里幸子  
神村寿郎  
杉本重子  
鈴木邦義  
曾我昭彦  
曾我久美子  
曾我千代香  
大源應子

大力憲人  
塙下八重子  
高垣茂代美  
田角竜介  
高橋とも美  
高山恵子  
滝川智子  
竹内真知子  
竹口恵子  
竹田平八  
田所克之  
田中愛子  
田中久美  
田中寿代  
田中重好  
田中順一  
田中彪瑠  
田中みゆき  
谷 敬子  
玉置英賢  
辻 恵子  
辻本栄美  
葛籠みどり  
坪倉喜久代  
寺井初江  
寺田俊彦  
寺田二美子  
寺山妙子  
土井秀子  
土井捷三  
土井俊昭  
土井二美  
藤後聰子  
戸江和子  
時岡滋樹  
徳水智子

柄木三代子  
富川みちる  
内藤由里子  
中井知美  
長岡久里子  
中岡正人  
中尾邦彦  
中熊壽子  
中塚千賀子  
中塚智雄  
中野節子  
中野富美雄  
中村京子  
中村麻紀  
新美千勢  
西川 節  
西澤留里子  
西野典子  
西村基雄  
布村加寿美  
小松智子  
野村淳子  
橋本昌秀  
橋本みえ子  
羽田博次  
林 茂一郎  
林 敬雄  
原田和美  
原田 隆  
原秀樹  
久野博秀  
久野真佐美  
日根野谷みゆき  
平居とし子  
平井晃代  
平阪末和

平太真佐美  
平沼恵太  
平沼昌之  
廣田しづえ  
深水広和  
吹上トモ子  
福井和美  
福田径代  
福田和子  
二神アケミ  
古木清子  
星野和也  
堀 くに子  
本田洋武  
本田紗由梨  
本藤由美子  
前川良子  
前田貴之  
増井日出子  
松尾恵美子  
松崎桂子  
松田 悠  
松中広大  
松野孝律  
松葉久子  
松村末子  
真鍋佳代  
萬谷文章  
三浦友莉恵  
三田智士  
道添洋子  
南野珠江  
南 弘一  
宮佐知子  
宮川たか子  
宮坂文子

## ◎2022年度会員手続きをして下さった方・団体◎

## ○個人会員

宮崎 登  
宮崎愛永  
宮澤真知子  
宮ノ畠渉  
森川 清  
守口和三  
森本由美  
八木 淳  
安岡弓美子  
安田具微子  
安田文和  
山岡 充  
山口惠美  
山口憲二  
山口由利子  
山崎まなみ  
山崎順子  
山下由美  
山田しふ  
山田昌宏  
山西春美  
山本早紀子  
山本ゆかり  
横山光裕  
来住真知子

## ○特別個人

吉見三和子

松崎恵美



## ○団体会員

手話サークル青柿  
旭区聴言障害者協会  
阿倍野区聴言障がい者協会  
手話サークル天の川  
手話サークルいいもり  
手話サークルいずみ  
手話サークルいちょう  
泉佐野市聴言障害者部会  
和泉市聴力障がい者福祉協会  
茨木市聴力障害者協会  
手話サークルうの花  
手話サークル桜花  
大阪手話通訳問題研究会  
大阪ろう就労支援センター  
手話サークル風  
大阪重複ろうあ者家族の会 林 明裕  
交野市聴力障害者協会  
手話サークルかめのこ  
河内手話サークル連絡会  
河内地区聴力障害者協会  
岸和田市聴覚障害者福祉会  
岸和田市登録手話通訳者の会  
手話サークルくすの木  
手話サークルくまた  
京阪地区聴力障害者協会  
此花区聴言障害者協会  
手話サークルこひつじ  
手話サークルサラダ  
大阪市手話サークル連絡会  
四條畷市身体障害者福祉会ろうあ部会  
大阪市聴言障害者協会  
手話サークル貝の子  
手話サークルコスモス  
手話サークルまつかぜ  
手話サークルみなど  
手話サークル杉の子

## ○団体会員

住吉区聴言障害者協会  
西淀川手話サークル555  
手話サークル泉北  
手話サークル竹の子  
手話サークルたまねぎ  
鶴見区聴言障がい者協会  
手話サークルてのひら  
手話サークル天王寺  
手話サークルトウモロー  
八尾市手話サークルどんぐり  
手話サークルながほり  
西区聴言障害者協会  
羽曳野市ろうあ部会  
東大阪市身体障害者福祉協会聴言部会  
手話サークル陽だまり  
枚方手話サークルひまわり  
枚方市聴力障害者協会  
藤井寺市聴言部会  
手話サークルぶどうの木  
手話サークルふれあい  
大通研北摂ブロック  
北摂地区手話サークル連絡会  
手話サークル星空  
手話サークルまつぼっくり  
手話サークルむつみ  
手話サークルみやこじま  
摂津手話サークルもくもく会  
岬町手話サークルモズの会  
八尾市身体障がい者福祉会聴言部  
手話サークルやじろべえ  
手話サークルやまびこ夜の部  
手話サークルゆびわ



## ☆引き続き会員入会手続きお願い致します☆

## ◎年会費(4月～翌年3月)

①個人会員3000円(1口) ②団体会員3000円以上

③特別会員☆個人2万円(1口) ☆団体5万円(1口)

## ◎入会は法人事務所、大阪ろうあ会館、各施設で受付しています。

## ◎郵便振替の振替用紙にご氏名・ご住所をご記入下さい。

(番号) 00910-9-279962

(名義) 社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会

4月1日～4月30日の間に次の方よりご寄付を頂きました。  
有難うございました。

## ▶ご寄付

野崎俊博様、池中隆太郎様、  
泉州聴覚障害者センターなん  
なん様、神崎真理子様、  
和泉市聴力障害者福祉協会  
様、手話サークルいづみ様、  
手話サークルまつかぜ様、  
匿名様、東大阪市聴言部会様

【ほくほく・物品寄贈】  
島袋アケミ様（テプラカード  
リッジ、文房具）、摂津市手話  
サークル忘れな草様（ご寄  
付）、匿名様（反物、手芸材  
料、棚）、匿名様（ご寄付）

【あすくの里・物品寄贈】  
曾我千代香様（フットマッサ  
ージャー）  
笛谷達子様（はっさく）

2022 6月 Jun.

あすくの里		
7	火	マッサージ・散髪
12	日	愛友会総会
14	火	マッサージ
17	金	デイ制作
18	土	デイおやつ作り 特養4西 温泉イベント
20	月	デイ制作 特養4西 長寿誕生日会
21	火	マッサージ
27	月	マッサージ
27	金	デイカレンダー制作
28	火	マッサージ
30	木	デイカレンダー制作 備考 デイサービス毎週日曜日

なんなん		
4	土	閉所日
7	火	コスモスクらぶ
10	金	なかま工賃日
11	土	閉所日
14	火	コスモスクらぶ
18	土	閉所日
21	火	コスモスクらぶ
23	木	閉所日
27	月	ふりかえり会
28	火	コスモスクらぶ
備考		なんなんほほえみ会 役員会 (日程未定)

なかまの里		
2	木	カウンセリング
6	月	作業棟バルサン
7	火	役員会
9	木	作業棟バルサン
11	土	シーツ交換
12	日	ガルボ
17	金	夕食会 夜 役員会
23	木	全体会 誕生日会 髪や
25	土	シーツ交換
備考		

ほくほく		
15	水	仲間お誕生日会① 仲間工賃支給日
17	金	仲間お誕生日会②
18	土	仲間お誕生日会③
21	火	仲間お誕生日会④ 教養講座（歯に関する病気）
24	金	職員会議
備考		

法人事務所		
7	火	3年目職員研修
18	土	評議員会
26	土	法人就職説明会
備考		

### 発送作業いつもありがとうございます

法人だより発送作業は大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター（森ノ宮駅最寄り）3階会議室で行っています。良ければお手伝いをお願い致します！ご都合の良い時間だけでも嬉しいです。（編集部）

●7月号発送作業日は、6月30日（木）11：00～終了まで

5月号発送作業をお手伝い頂いた方々（敬称略）

4月28日（木）

大塚廣二、溝上百合子、森本穎子、内山ひろみ

有難うございました！

